

Check Point

消費者部会とは

消費者団体及びその他消費生活関連団体を構成員として、生団連の重点課題などについて生活者・消費者目線での意見集約を行う会です。

消費者部会での議論と、生団連全体への情報展開や意見の共有、外部への発信・提言を通じて、「国民の生活・生命を守る」という生団連の理念遂行を目指しています。

第9回 消費者部会

2021年11月22日(月) 13:30～15:30 株式会社ゼンショーホールディングス会議室

感染防止策を徹底のもと、Web会議システムを併用し開催されました。

阿南部会長による議事進行のもと、各課題の活動状況および今後の方向性について、参加者による活発な議論や意見交換が行われ、全議題が承認決議されました。



▲阿南 会長代行・消費者部会長
(消費者市民社会をつくる会 代表理事)



決議事項

議題1 地域生団連の全国展開について

議題2 最重点課題

「新型コロナウイルス感染拡大防止と医療提供体制の改善」
～コロナ下の法制度とオペレーションの見直し～

議題3 重点課題 2021年度 委員会開催報告

- ①「国家財政の見える化」の実現に向けて
- ②「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築に向けて
- ③「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて
- ④「生団連 災害支援スキーム」での実効性のある支援実現に向けて

議題4 研究課題等 進捗報告

- ジェンダー主流化委員会
- 食品ロス削減に向けた活動・内外とのリレーション強化
- 横浜市長選挙 公開質問について

【出席者からのご意見(一部抜粋)】

- 「健康危機管理庁」について、国民の健康危機管理はどのようにしていくのか追及が必要。
- 「国家財政の見える化」に関するリーフレット作成および国民向けのアンケートは、分かりやすい内容で、若者向けにもSNS等で発信してもらいたい。
- 外国人の受入れについて、地域で日本語を学べる場所があるとよい。悩みを相談する場所をつくらないといけない。
- EVシフトと脱炭素、原発問題は複雑に絡み合っているが、整理して世の中へ発信していく必要がある。
- 災害支援については、企業の取り組み事例の紹介を生団連内で共有していくことが重要。